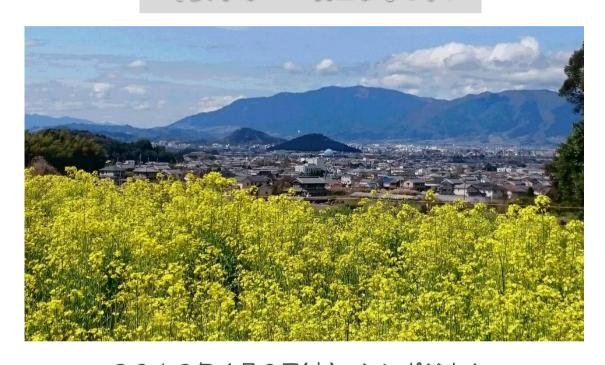
第16回全国菜の花サミット in やまと

循環型社会へ向けて菜の花でつなぐ日本の「道」

報告 記錄集



2016年4月9日(土)シンポジウム
桜井市民会館2016年4月10日(日)分科会
奈良教育大学藤原宮址山の辺の道他葛城市中央公民館

主催 第16回全国菜の花サミット in やまと 実行委員会

事業概要

日時: 2016年4月9日•10日

会場: 9日 桜井市民会館(桜井市)・

10 日奈良教育大学(奈良市)・藤原京旧址・山の辺の道他(桜井市、橿原市、天理市)、葛城市民会館(葛城市)

目的: 菜の花を通して、環境・観光・経済・エネルギー・教育等の問題を見直し、新しい時代の持続可能な循環型

社会の構築をめざす。

主催: 第16回全国菜の花サミット in やまと実行委員会

共催: NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク 奈良教育大学

協力: 奈良県環境県民フォーラム

後援: 奈良県・桜井市・奈良市・葛城市・橿原市・天理市・斑鳩町・安堵町・高取町・各教育委員会(奈良県・桜井市・奈良市・

葛城市・天理市・斑鳩町・安堵町)奈良県地球温暖化防止活動推進センター・奈良女子大学共生科学研究センタ

ー・奈良佐保短期大学・NPO 法人奈良ストップ温暖化の会・NPO 法人奈良 NPO センター・奈良新聞社

協力団体: NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト・NPO法人宙塾・大和の国菜の花エコプロジェクト・

NPO 法人工コ葛城市民ネットワーク・NPO 法人橿原市民ネットワーク天理・なら橘プロジェクト推進協議会・NPO 法人ナルク奈良・NPO 法人うだ夢創の里・NPO 法人明日香の未来を創る会・NPO 法人ほっとねっと・

農ある高取町推進協議会・市民生活協同組合ならコープ・認定 NPO 法人環境文明 2 1 関西・G&L 共生研究所

協賛団体数 94企業・団体

参加者数 2日間延べ約900人(1日目約700人, 2日目、計200人)

第1日 シンポジウム

会場風景







上:開会前のスタッフ打合せ 下:会場前庭の地域特産物展示販 売の賑わい





開会











写真上左より:(開会宣言)大石正実行委員長、(開会挨拶)藤井絢子全国菜の花プロジェクトネットワーク代表、 (来賓挨拶)前田武志参議院議員、中幸司奈良県〈らい創造部長景観・環境局長 (歓迎の言葉)松井正剛桜井市長

オープニングセレモニー 雅楽演奏 おやさと雅楽会



感謝狀贈呈

小牧市女性の会は、第 1 回菜の花サミットに参加して以来、地域での菜の花栽培に取組み、菜の花フェスティバルの開催、地元小学校の総合学習の一環として子どもたちに種まきから搾油までを指導、平成 13 年から毎年修学旅行の途時、子どもたちが菜種油を奈良法隆寺へ奉納する活動を支えて来られた。今回奈良でサミットを開催するにあたり、その功績を讃え感謝状を贈呈した。



基調講演

足るを知る心とは 法相宗大本山 薬師寺管主 山田 法胤





斑鳩

パネルディスカッション

循環型社会へ向けて 菜の花でつなぐ日本の「道」



コーディネーター:

藤井 絢子 NPO 法人菜の花プロジェクトネットワーク代表 パネラー:

岩本 廣美 奈良教育大学教授 オオニシ恭子 やまと薬膳主宰

藤村コノヱ NPO 法人環境文明 21 共同代表

大石 正 第16回全国菜の花サミット in やまと実行委員長



全国菜の花サミット 次年度開催予定の福島県南相馬市のみなさん





廃食油を利用したキャンドルナイト エコ葛城市民ネットワーク制作

第2日 分科会



葛城会場 奈良のエネルギーとファームキッチン 葛城市中央公民館



新聞掲載サミット関連記事



(奈良市)の山田法胤管主

読売新聞

を (同-1500円)を (同-1500 葛城3市の各会場で、教育 2日目は、奈良、桜井、 2日目は、奈良、桜井、 ョンも予定。資料代500コンも予定。資料代500 環型社会へ向けて菜の花で内各地での活動報告や「循 の名地での活動報告や「循 橿原市常盤町のまほろばキ 円が必要。午後6時からは

平成 28,3,13

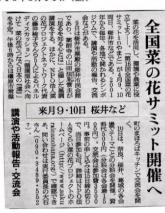
ポジウムが開かれ、薬師寺井市粟殿の市民会館でシン り、県内では初めて。 と、2001年から毎年、型社会の実現を目指そう などで菜の花を育てて採取 県内で開催される。休耕地 主催)が4月9、10両日、ツトーロやまと」(実行系 した菜種油を活用し、循環 菜の花サミット 初日は午後0時半から桜 第16回全国菜の花サミ (実行委 10日

循環型社会目標

奈良新聞 2016.4.10



朝日新聞(2016年3月11日(金))



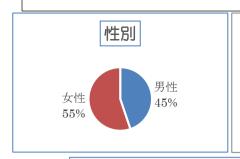


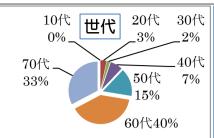


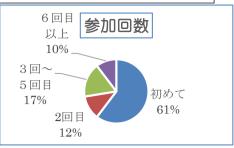


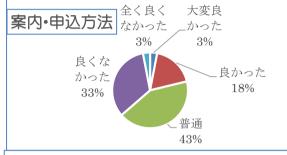
会場参加者アンケート

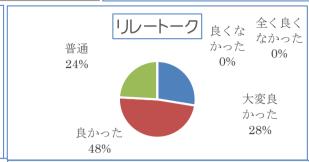
2016,4,9 日シンポジウム終了後実施

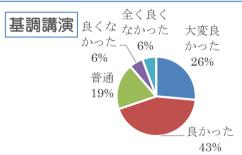


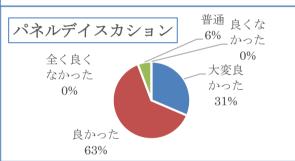




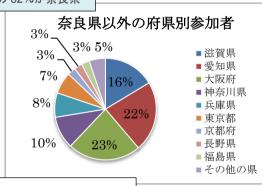


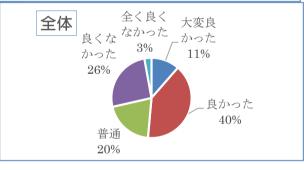






参加者の82%が奈良県





その他の県の内訳、鹿児島県、群馬県確2人、栃木県、埼玉県確1人

実行委員会開催記録

	開催月日	開催場所		開催月日	開催場所
1	2015 年 .6 月 11 日 葛城分科会打合せ	葛城市	10	1月.15日	橿原ナビ5階
2	6月26日	橿原ナビ	11	1.月 19 日 (チラシ・ポス ター印刷発注)	本町プリントパック社
3	9月13日全国菜の花 サミットキックオフ大会	奈良市生涯学習センター	12	1.月 29 日	NPO 桜井菜の花プロジェクト事務所
4	10月15日	桜井市民会館	13	2.月 12 日	桜井市図書館
5	11月.27日	橿原ナビ	14	3.月 4日	橿原ナビ5階
6	12月9日 資料集編集会議)	K-pool	15	3月.10日	桜井市民会館楽屋
7	12月.15日	橿原ナビ 5 階	16	3.月 25 日	桜井中央公民館
8	2016.年 1 月.6 日 (資料集編集会議)	K-pool	17	4.月 6日 リハーサル	桜井中央公民館
9	1月.12日	まほろばセンター	18	4.月8日 準備と確認	桜井市民会館

第 16 回全国菜の花サミット in やまと サミット宣言 ~循環型社会へ向けて菜の花でつなぐ日本の『道』~

約 46 億年前に地球が誕生し、3 8 億年前に最初の生命が、500 万年前には人類が出現したといわれています。 「奇跡のほし」と呼ばれる地球。今日まで人類の生存を受け入れてきた地球がいま人口・工業化・環境・気象・資源・エネルギー・食糧など多くの面から「成長限界」を迎えています。

このような中で、今回の「全国菜の花サミット in やまと」では、これからの社会のあり方を展望し、私たちが歩むべき日本の『道』について意見交換が行われました。

奈良(大和の国)には、縄文弥生から古墳時代を経て奈良時代に至るまでは、優れた文化・技術・宗教・学術を渡来人と共に受け入れ、千年余の年月をかけて日本の土壌風土に最も適した形で醸成しつつ、「調和」と「共生」を重んじる国づくりの中心を担ってきた歴史があります。その歴史に現代的な課題を解決するために必要なものを探ること、そして「やまとの覚醒」を図ることがこのサミットを日本人の心のふるさとともいえる奈良・やまとの地で開催した由縁です。

この全国菜の花サミットは、日本人が今まで育み守ってきた自然に対する考え方を取り戻し、現在の行き詰まった社会から脱却し、新しいライフスタイルへの転換や社会システムを再構築する『道』をともに考えるサミットでした。 私たちは、「観光」の本義である「その国・その土地の光を観ること」に立ち返ることから今回の全国菜の花サミットを企画してきました。全国各地それぞれが「存在感と特色のある光」を競い合い、互いに「持続可能な地域のあり方」を学びあいながら、ここ「国のまほろば」と呼ばれる「やまと」から、外見的にも内面的にも美しい国づくりのモデルを発信していけるよう、以下の宣言をします。

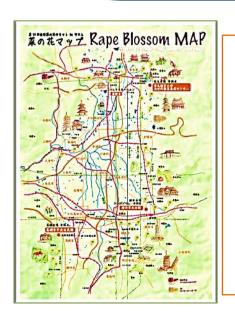
- 1. 子ども達とともに持続可能な社会づくりを目指します。「菜の花」をシンボルとして「持続可能な開発のための教育 (ESD)」を推し進めます。未来を担う子ども達が菜の花栽培を通して、自然界の循環の仕組みを学び、菜種油を社寺に奉納することで、地域に残る自然や文化への関心を高め、世界に誇れる遺産にしていきます。
- 2. 「菜の花」が持つ「持続可能な社会づくり」の力を再認識し、食・農・健康・観光・教育・福祉などをつなぐことを基調とした具体的で分かりやすい運動をさらに積極的に展開します。 それぞれの地域の中の多様な分野の取り組みとの連携強化を図り、その活動を深めます。
- 3. このサミットで交わされたことを踏まえ、次の世代に引き継ぐための「日本の道」を探りながら、持続可能な社会構築ために、いまの時代を生きる個人と地域の自立を高めます。

サミット宣言を読み上げる田中そらさん。

サミット宣言を読み上げる田中そらさん、 山科友紀さん(奈良女子大学学生)

平成 28 年 (2016年) 4月9日

第 16 回全国菜の花サミット in やまと 参加者一同



第16回全国菜の花サミット in やまと 実行委員 所属団体

(アイウエオ順)

いかるがの里・自然クラブ、 環境文明 2 1 関西代表、㈱クリーンエナジー奈良、 市民生活協同組合ならコープ、 地域未来エネルギー奈良、なら橘プロジェクト 推進協議会、奈良教育大学、奈良県地球温暖化防止活動推進センター、ポニーの里 ファーム、G&L共生研究所、NPO 法人明日香の未来を創る会、NPO 法人工コ葛城 市民ネットワーク、 NPO 法人宙塾、NPO 法人環境市民ネットワーク天理、NPO 法人さくらい菜の花プロジェクト、 NPO 法人ナルク奈良、NPO 法人ほっとねっと